

テーマ①【移動・まちづくり】の提言案

案	提言案(第5回の予備投票時にフォームに記載されていた文言)	賛成	保留	反対	賛成%	賛保%	代替案(第5回で「意味内容の変更を伴う修正案」としてグループから提案されていた文言)
要改善	2111 歩きを応援するために、事業者は、歩きやゼロカーボン移動にポイント(商品券など)を与える	17	19	3	44%	92%	徒歩や自転車等を応援するために、事業者は、徒歩や自転車等のゼロカーボン移動にポイント(商品券など)を与える
準確定	211x 事業者は、移動距離や歩数に応じてポイントなどを与えるしくみをアプリでつくる	24	9	6	62%	85%	
準確定	2121 歩きを応援するために、市は、歩きやゼロカーボン移動にポイントを与える	24	12	3	62%	92%	
準確定	2122 歩きやすくするために、市は、広く安全な歩行者空間(ベンチ・雨よけ・歩きやすい素材や遊歩道)を整備・拡充する	28	8	3	72%	92%	
準確定	2123 天候・気温に左右されず自転車・歩行できるように、市は、屋根付き道路等の雨を防げるもの(街路樹など)の整備を行う	28	9	2	72%	95%	天候に左右されず徒歩・自転車移動ができるように、市は、屋根付き道路等の雨を防げるものの整備を行う
準確定	212x 市は、2123(歩き・自転車の屋根付き道路等)のモデル地区を整備する	24	10	5	62%	87%	
準確定	212x 自転車・歩行できるように、市は、屋根付き道路や木などで日陰をつくる	25	8	6	64%	85%	気温に左右されず徒歩・自転車移動ができるように、市は、屋根や木などで日陰をつくる
要改善	2211 自転車移動を増やすために、事業者は、電動のレンタサイクルを増やす	14	23	2	36%	95%	①自転車移動を増やすために、事業者や地域・自治会は、電動のレンタサイクルを増やす ②自転車移動を増やすために、事業者は、(電動・非電動問わず)レンタサイクルを増やす
準確定	2221 自転車が快適に走れるように、広く安全な自転車専用レーンを設置する	21	18	0	54%	100%	①自転車が快適に走れるように、安全柵付きの自転車専用レーンを設置する ②自転車が快適に走れるように、広く安全で見てわかりやすい自転車専用レーンを設置する
準確定	2222 自転車移動を促すために、市(県・国)は、自転車を選んだほうが得になるしくみをつくる	21	14	4	54%	90%	
不掲載	222x 市は、2221(自転車専用レーン)のモデル地区を整備する	19	7	13	49%	67%	
準確定	2311 バスの利便性を高くするために、事業者は、GPSを導入しバスの経路と遅延などがわかるアプリを作成する	28	10	1	72%	97%	
不掲載	2312 公共交通で通える範囲に高校をつくるために、市民は、声を上げる	11	17	11	28%	72%	
不掲載	2313 路面電車導入のために、市民または鉄道会社は、路面電車整備への意見をまとめる	17	14	8	44%	79%	
準確定	231x 市民は、アプリを使ってバスの動きを把握できるようにする	24	12	3	62%	92%	
準確定	231x 事業者は、通勤用バス(エコバス)を用意する	23	10	6	59%	85%	
準確定	2321 市民が公共交通機関を利用しやすくするために、どこでも公共交通やバス停へアクセスしやすいまちづくりをする	22	16	1	56%	97%	多くの市民が公共交通機関を利用しやすくするために、公共交通やバス停へアクセスしやすいまちづくりをする
準確定	2322 バスの本数と停留所を増やし値段を安くするために、市(県・国)は、助成金を出す	23	12	4	59%	90%	
要改善	2323 バスを利用しやすくするために、市は、バスの経路・遅延情報などがわかりやすくするしくみを入れる	18	21	0	46%	100%	①バスを利用しやすくするために、バスにGPSを導入し、バスの位置情報などをバス停に表示させる ②バスを利用しやすくするために、バスの経路・遅延情報などがわかりやすくする交通アプリをつくる
要改善	2324 免許返納とバス利用を促すために、免許返納者にバス無料券を渡す	12	26	1	31%	97%	①免許返納とバスとタクシーの利用を促すために、免許返納者にバスとタクシーの無料券を渡す ②免許返納とバス利用を促すために、高齢者・未就学児・土日祝日限定利用者にバス無料券を渡す
要改善	2325 公共交通を利用しやすくするために、LRT(Light Rail Transit)で街中と学校と筑波山地域を結び	12	24	3	31%	92%	公共交通を利用しやすくするために、LRT(Light Rail Transit)で市内各地を結び
準確定	2326 バスやタクシーの自動運転を実現するために、市は、モデル地区を定め開発を進める	27	8	4	69%	90%	
確定	232x 市は、自動運転(AI搭載)循環バスを導入する	33	6	0	85%	100%	
要改善	2421 電気自動車等を利用しやすくするために、EV充電器を普及させる	16	23	0	41%	100%	電気自動車等を利用しやすくするために、ガソリンスタンドやコンビニなど生活上利用しやすい場所にEV充電器を普及させる
要改善	2422 電気自動車を増やすために、市(県・国)は、充電器整備に補助金を出す	16	20	3	41%	92%	電気自動車を増やすために、市(県・国)は、充電器を整備した企業や個人に補助金を出す
要改善	2423 電気軽自動車を普及させるために、市は、電気軽自動車の税金をなくす	18	16	5	46%	87%	電気自動車を普及させるために、市(県・国)は、電気自動車の税金をなくす
準確定	2424 電気自動車を普及させるために、市は、電気自動車を持つ際の補助金や減税のメリットをより広く知らせる	27	11	1	69%	97%	
要改善	2425 超小型EVを使いやすくするために、市は、超小型EVレンタルをする事業者に補助金を出す	14	19	6	36%	85%	(修正案なし)
準確定	242x 市は、水素バスを走らせる	28	10	1	72%	97%	
準確定	242x 水素自動車を利用しやすくするために、水素ステーションを普及させる	27	10	2	69%	95%	
確定	2511 外で涼めるように、日陰のできる街路樹や緑地などを増やす	33	5	1	85%	97%	
確定	2512 商業施設は、グリーン化を進める	32	5	2	82%	95%	
要改善	2611 道路混雑緩和のために、事業者は、土日休みだけでなく多様な働き方や週休3日以上にする	10	25	4	26%	90%	①事業者が使用しているエネルギー消費を軽減するために、事業者は、土日休みだけでなく多様な働き方や週休3日以上にする ②道路混雑緩和のために、事業者は、土日休みだけでなく多様な働き方を進める
準確定	2621 渋滞緩和とエコドライブ促進のために、警察は、信号機の制御にAIを活用する	25	9	5	64%	87%	